**子どもが楽しんでくれる、おうちで絵本を読むときのコツ**

1. **毎日欠かさず読んであげる**

できる限り本を選ばせてあげましょう。できれば毎回。
そして子どもが読んでほしい本を選んだら、そこで女優になって「また一緒にこうして本が読めるなんて楽しいわ！」という雰囲気をかもし出します。（白々しいと思われるので、あえて口に出して言わなくていいです）ママのそういった雰囲気は子どもはすぐに感じますので、十分に伝わります。
絶対にしてはいけない事は、ママの機嫌が悪いときに義務的に読むこと！ママだってどうしても気分が上がらない日はありますよね。そういった日は「本の楽しみは明日ね！」と言ってスキップしましょ♪くれぐれも「今日はめんどくさいから明日ね。。」とは言わないで下さい。この一言はそれまでのママの苦労さえ、すべて泡にしてしまいますから怖いんですよ。
必ず「今日はスキップするけど明日は読むからね」との旨を伝える様にしましょう。そうする事で子どもは「あぁ毎日読むんだなぁ」という習慣的思考になって行きます。あくまでも絵本を読むことは「楽しいこと」なんだと思ってもらうのが何より先です。

1. **絵や写真も「読む」**

文字よりも先に、絵や写真に集中させるのがポイントです。子どもは大人が想像もしないほどクリエイティブ。だから１枚の絵を見て黙っていても、頭の中ではそれはそれはものすごい想像を膨らませている事があるんです。一切動かない子どもをみて、退屈してるんじゃないかと思うママは多いですが、そんな事はありません。

その絵や写真の詳細な部分を、観察して理解する事によって、すばらしい全体理解のスキルが身について行きます。分かりやすく言うと、「こんなすみっこにネズミがいた！」「あ、そうか！だからネコの目が大きくなってるんだ。きっとネズミを探してるんだ！」といった具合に、ネズミの姿から、全体的なストーリーの流れを想像する事で、考える幅を増やせるという事です。

特に初めての絵本を読んであげる時には、必ず「ピクチャーウォーク」をして下さい。これは絵を歩くという意味ですが、まずは表紙から始まり、すべてのページの絵や写真のみを見せて行く、というテクニックです。
子どもさんと一緒に「これは何だろね」「おいしそうね」「何してるのかな」「悲しそうね」という具合に見て行くだけです。そしてこの本がどういった内容なのかを、子どもに想像させておくことで、すでにこの本に興味を持った状態で読むことができます。

1. 読むときに、単語を指で追って読む

これは毎回やらなくて大丈夫です。時々、読みながら指でどこを読んでいるか指してあげます。ゆっくりと丁寧に、読んでいる単語にそって指をすべらせて行きます。このシンプルな行動が子どもには大きな学びになります。ひとつひとつの単語が、アルファベットの組み合わせでできている事、それぞれが意味を持っている事、スペースを空けて並んでいる事、大人にとって当たり前すぎる事が子どもたちには新鮮な情報になります。

必ず読んでいる単語に指がある、という事を意識してみて下さい。それを繰り返し見せる事で、子どもが自分で読みだした時に、同じ様に指の助けを借りて読んでいるのを見る事でしょう。

1. 交互に読む

すでに暗記してしまって、次に何が来るかわかっている本ができてきた時に、文の最初や最後の文章を少しだけ抜いて読みます。そうすると子どもはその部分を言ってくれる様になります。

もしくは、次のページをめくる前に、ほんの少しだけめくるふりをして止め、子どもの顔をじっとみつめる。何も言わなくていいです。そうすると子どもの方から、次のページの文章や単語を口に出してくれるはずです。こうしてママと子どもで交互に読む、という流れを作って行く事で、自主的に読むという方向へ持って行く事ができます。

この段階で絶対にやって頂きたいのが、「必ず最後のページまで読む」という事です。子どもは最後のページまで読んで、後ろの表紙を閉じた時点で物語が終わります。（子どもによっては終わらないこともありますが…）その時の「１冊読めた！」という達成感を味わってもらう必要があります。それがあると、さて次はどれを…という気持ちに繋がるからですね。少なからず自分が関わって読んだ本であれば、その達成感を味わう事なく終わるというのは、あまりにもったいないと思います。

1. 文字で遊ぶ

文章を暗記して読める様になった子どもには、実際に文字や単語を認識させていく事ができます。いろいろな遊び方がありますが、本当にシンプルなものを紹介しましょう。

＝単語ハンティング＝

1 いつもの様に本を最後まで読みます。

2 ママが適当なページを開いて、「You」ってどこにあるか探そう！と言って子どもと一緒に

探します。ママは分かっていても女優になって「あ！こんなとこにあった！」という感じ

で「発見した感」を出してください。そのページにたくさんある単語の方がよいですね。

　 ３　それを２～３回やった後に、子どもに本を手渡します。そうすると子どもは自分で読める

単語を見つけて「I」とか「dog」とか言ってくれますので、それをママが探します。

（ここはなるべく苦労して探して下さい）

　　　これは続けて行くと、シンプルなのに読める単語が自然と増えてしまう、魔法の様な

アクティビティなんです。ここで使える英語をご紹介しておきますね。

本を読んだあと 「Let’s play word hunting!」→ 「OK!」

単語を決めて　「YOU! Where is YOU?」→ 「…」

子どもが見つけるまで、何度も同じ文章を繰り返して言う。（文を変えないこと）

子どもが見つけたら「あった！」というので、「Here!」と英語で返す。

子どもに本を渡したら　「It’s your turn」（ここは無言で手渡すだけでもOKです）

子どもが何か単語を言ったら「Here!」と言って指で示せば大丈夫です。

最終的に子どもにも同じ事を言ってもらうのが目的ですので、はっきりとゆっくりと何度でも繰り返し聞かせる事が重要です。

「なんだか子どものセリフがないわね…」と思われるかもしれませんが、ここがスタートなんです。心配いりませんよ！ママが自信を持って話している言葉は、子どもは必ずマネして覚えてくれます。子どもの可能性を信じてあげて、今しかない子どもとの時間を思いっきり楽しんで下さいね！

「子どもの為にこれをやろう！」って決めたあなたは本当にステキなママです♪

　　　ベッキーはいつも応援しています！